

保全技術 研修用橋梁モデル

N²U-BRIDGE

ニュー・ブリッジ



N EXCO-Central and
N agoya
U niversity
B ridge model with
R estoration and
I ntegrated
D eterioration for
G lobal
E ngineers



国立大学法人 東海国立大学機構
名古屋大学



中日本高速道路株式会社
中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社

ごあいさつ



名古屋大学大学院 工学研究科 土木工学専攻

橋梁長寿命化推進室長 中村 光



高度成長期に建設された多数のインフラは現在では高齢化し、道路橋では2020年代半ばにはその半数が建設後50年以上になります。さらに、高齢化した橋梁の数は今後急速に増加していきますので、既設橋梁の適切な維持管理はますます重要になります。

橋梁を維持管理し長寿命化を図るために、建設年代に即した橋梁の設計・施工に関する基本的知識を持ち、様々な劣化事象に対して橋梁と直接向き合いながら、適切に点検・診断・評価を行える人材育成が強く求められています。

名古屋大学橋梁長寿命化推進室は、様々な劣化・損傷が生じ撤去された橋梁の部材を全国から集めた施設「N²U-BRIDGE」を活用し、臨床型の橋梁の維持管理技術者の養成プログラムに基づく研修を開催しています。この研修は、国をはじめとする道路管理者、大学、業界団体が参画する「橋梁保全技術研修協議会」の協力のもと実施されるものです。また、検査点検コースおよび診断評価コースの修了者を対象として、それぞれ橋梁点検士および橋梁診断士の判定試験も行っています。橋梁点検士は、国土交通省の技術者資格登録簿に橋梁（コンクリート橋）および橋梁（鋼橋）の点検業務に、橋梁診断士は同診断業務に登録されていますので、研修修了者が活躍する機会も増えていくと思います。

これからの橋梁の維持管理を担う技術者の方に、是非研修事業を活用していただければと思います。

ニュー・ブリッジ

N²U-BRIDGE とは

「グローバルに活躍できる技術者の学びのために名古屋大学とNEXCO中日本が共同で復元・建設した多様な劣化パターンモデルを有するモデル橋」

の英文頭文字を綴って名付けられました。
(表紙英文参照)

沿革

2011年 平成23年9月	N ² U-BRIDGE 完成
2012年 平成24年9月	研修開始
2016年 平成28年2月	橋梁点検士登録
2017年 平成29年2月	橋梁診断士登録
	現在に至る

主な事業内容は次のとおりです。

- ・基礎コース、検査点検コース、診断評価コースの3つの研修コースを行います。
- ・研修修了者には名古屋大学の修了証を交付します。
- ・検査点検コース、診断評価コース修了者を対象とした各判定試験を行います。
- ・橋梁点検士判定試験および橋梁診断士判定試験の合格者には、名古屋大学の各登録証を発行します。

※本研修は土木学会認定CPDプログラムです。

オーダーメイド研修の支援

オーダーメイド研修とは、行政機関、道路事業者、民間業界団体およびそれに加盟する企業が、自身の技術者育成のために、ニュー・ブリッジを使用して実施する研修です。
必要に応じて講義室の提供、点検機器の貸与、実習の支援等が可能です。

常設研修の状況

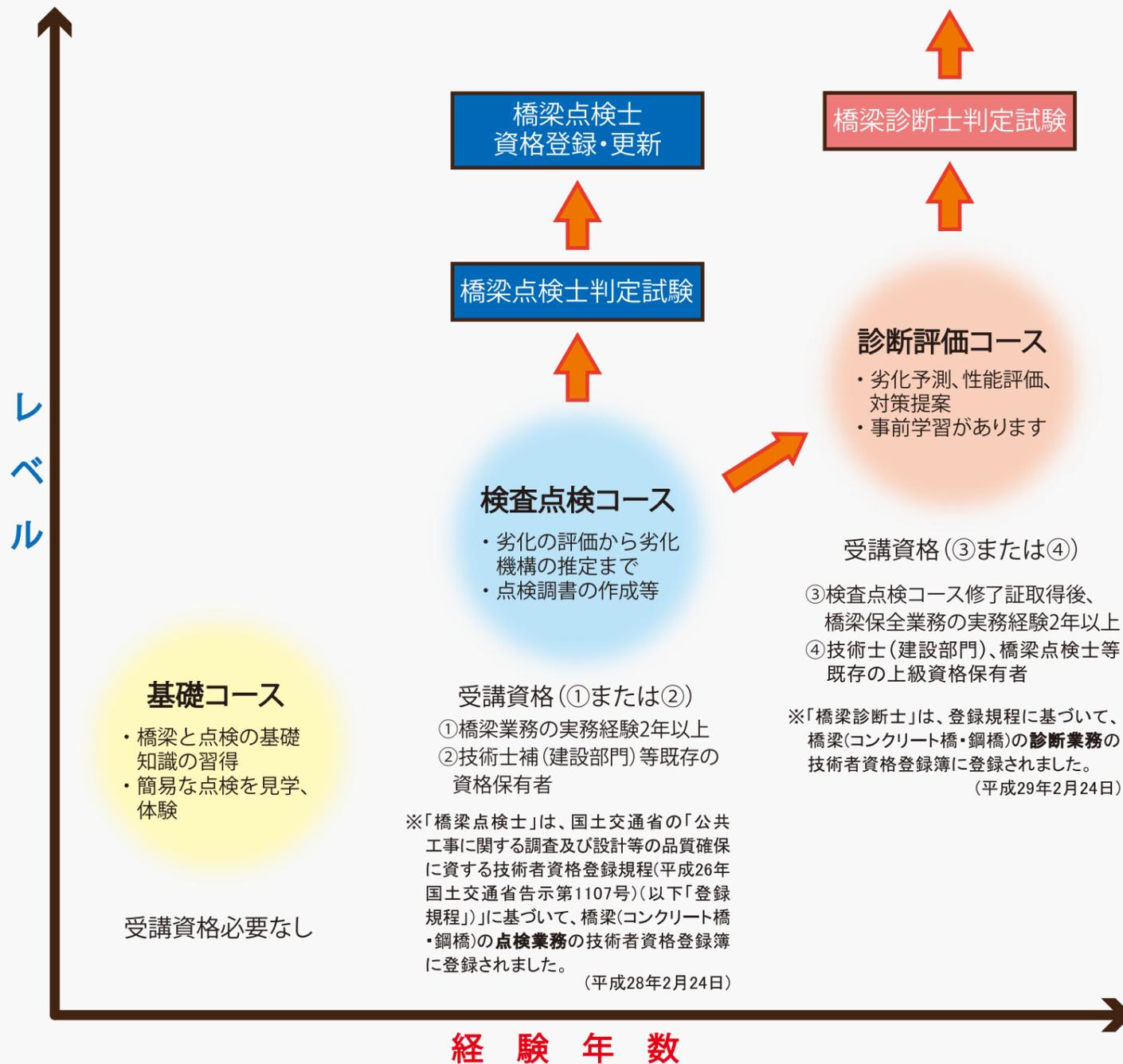
座学



実習・見学



各コースの技術レベルと位置付け(イメージ)



全体図



ITMP (Inspection Training Model Panel) 初期欠陥を再現したパネルおよび点検機器の実習フィールド

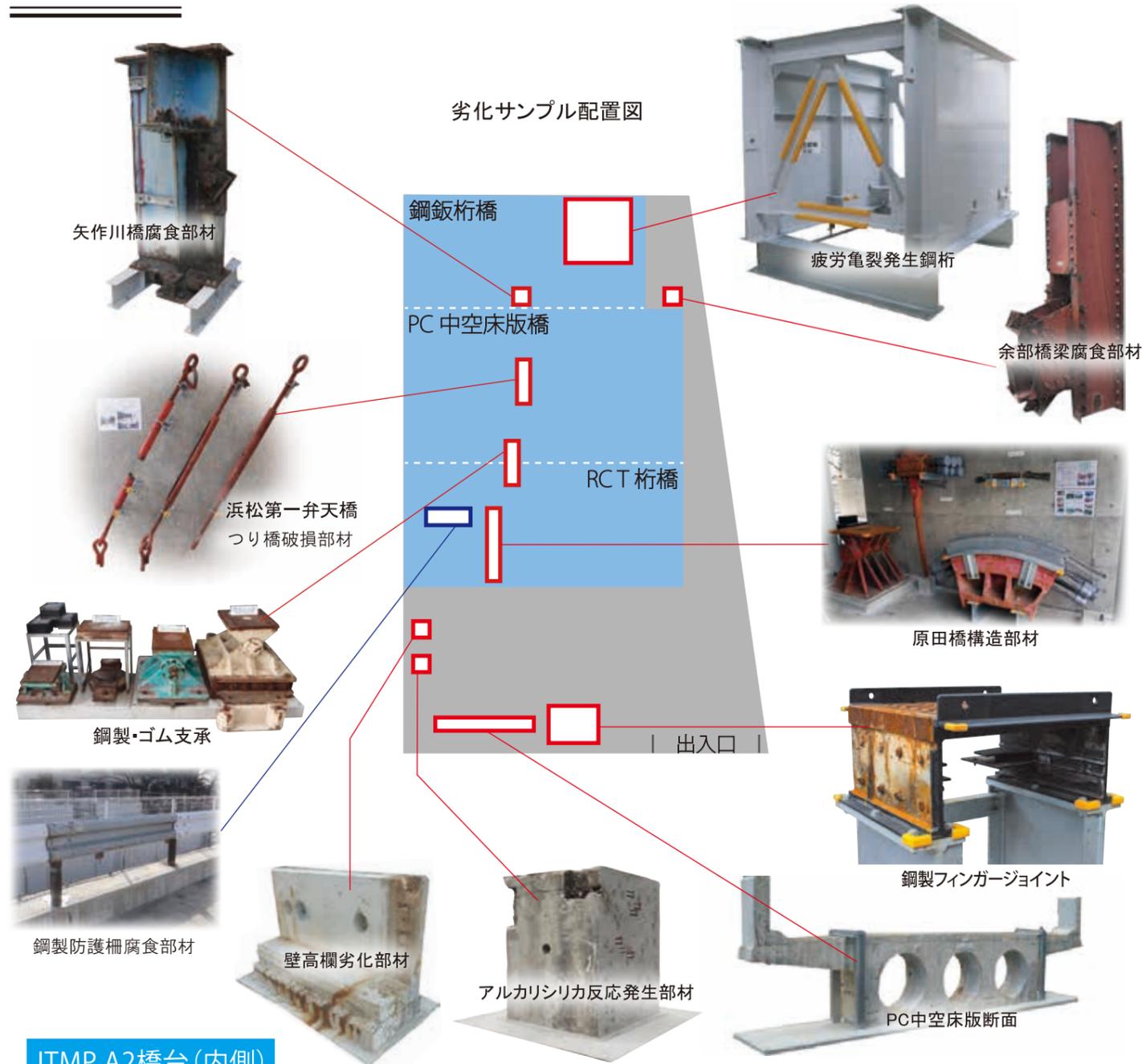
ITMP A1橋台 (外側)



ITMP A1橋台 (内側)



劣化サンプル コンクリート橋・鋼橋および付属物の劣化状態を観察することができます。



ITMP A2橋台 (内側)

